

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002329071 A**

(43) Date of publication of application: 15.11.02

(51) Int. Cl.

G06F 17/60

(21) Application number: **2001133009**

(22) Date of filing: **27.04.01**

(71) Applicant: **GE CAPITAL LEASING CORP**

(72) Inventor:
**SHIRATA KIYOSHI
OKUBO MASAOKI
HORIGUCHI KUNIHIKO
NAGASAKA MAKI**

**(54) INSURANCE PROCESSING SERVER, ITS
COMPUTER PROGRAM, INSURANCE
PROCESSING SYSTEM AND ITS PROGRAM**

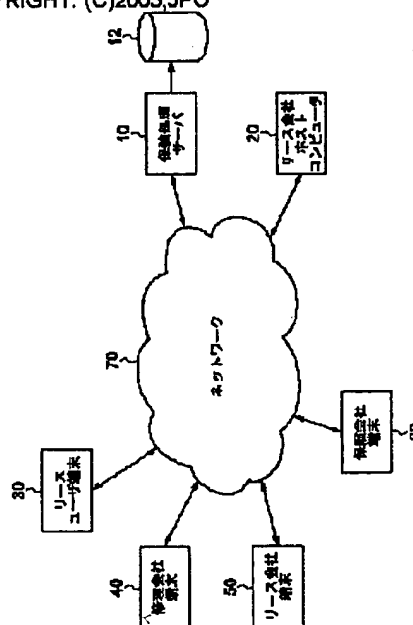
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an insurance processing server, its computer program, an insurance processing system and its processing method, and to reduce both processing time and processing cost by improving the efficiency of information transmission, and simplifying the process by storing leased property information in a database, and sharing the database to related persons via a communication network.

SOLUTION: The leased property information stored in the database 12 of the insurance processing server 10 is shared with related persons for the insurance processing, a lease user notifies the insurance processing server 10 about an accident, the insurance processing server 10 automatically transmits an electronic mail of an accident notice to a repair company, and a responsible person in the repair company makes an estimate after obtaining the information on the damaged lease property and the accident state by using a repair company terminal 40 and transmits the estimate to the insurance processing server 10. The insurance processing server 10 transmits these pieces of

information sequentially to a leasing company and an insurance company and urges their respective approvals.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-329071
(P2002-329071A)

(43) 公開日 平成14年11月15日 (2002. 11. 15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 E
	1 3 8		1 3 8
	5 0 2		5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数30 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号 特願2001-133009 (P2001-133009)

(22) 出願日 平成13年4月27日 (2001. 4. 27)

(71) 出願人 500224092

ジーイーキャピタルリーシング株式会社
東京都港区赤坂一丁目14番14号

(72) 発明者 白田 清

東京都中央区銀座2-9-4 ジーイーキャピタルリーシング株式会社内

(72) 発明者 大久保 昌昭

東京都中央区銀座2-9-4 ジーイーキャピタルリーシング株式会社内

(74) 代理人 100094053

弁理士 佐藤 隆久

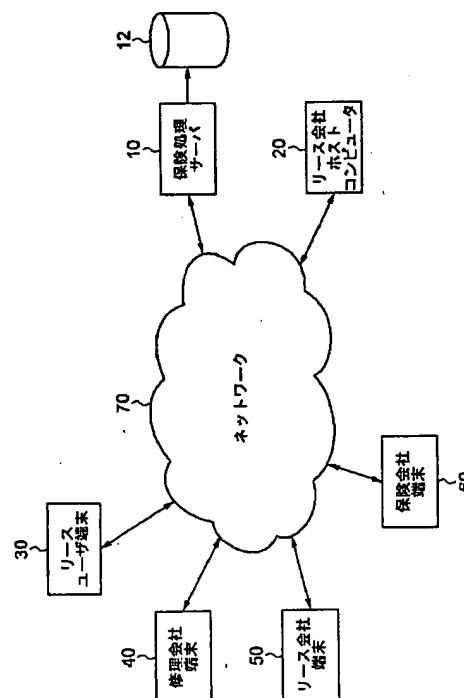
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 保険処理サーバ、そのコンピュータプログラム、保険処理システム及びその処理方法

(57) 【要約】

【課題】 リース物件の情報をデータベース化し、通信ネットワークを介して関係者にデータベースを共有させ、情報伝達の効率化、処理の簡素化を実現でき、処理時間の短縮並びに処理コストの低減を実現できる保険処理サーバ、そのコンピュータプログラム、保険処理システム及びその処理方法を提供する。

【解決手段】 保険処理サーバ10のデータベース12にあるリース物件情報を保険処理の関係者に共有させ、リースユーザがリースユーザ端末30を用いて保険処理サーバ10に事故を通知し、保険処理サーバ10が自動的に修理会社に事故通知の電子メールを送信し、修理会社の担当者が修理会社端末40を用いて事故のあったリース物件の情報及び事故状況を取得した上見積をし、保険処理サーバ10に送信する。保険処理サーバ10は、これらの情報を電子メールで順次リース会社と保険会社に送信し、それぞれの承認を促す。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ネットワークに接続され、保険事故が発生したリース物件の修理に関する保険処理を行う保険処理サーバであって、

リース会社とリースユーザより提供されたリース物件の情報を記憶する記憶手段と、

上記リースユーザからの事故報告を受けて、上記ネットワークを介して修理会社の情報処理機器に事故通知を送信する第1の通知手段と、

上記修理会社により送信される修理見積を受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信する第2の通知手段と、

上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して保険会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信する第3の通知手段と、

上記記憶手段に記憶されている上記リース物件の情報とともに、上記事故状況の説明、上記見積り結果、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示する情報開示手段とを有する保険処理サーバ。

【請求項2】上記情報開示手段は、上記保険処理の関係者に上記情報を選択して開示する情報選択手段を有する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項3】上記情報選択手段は、上記リースユーザに当該リースユーザが契約しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項2記載の保険処理サーバ。

【請求項4】上記情報選択手段は、上記修理会社に当該修理会社が修理を担当しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項2記載の保険処理サーバ。

【請求項5】上記情報選択手段は、上記リース会社に当該リース会社が所有しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項2記載の保険処理サーバ。

【請求項6】上記情報選択手段は、上記保険会社に当該保険会社が保険契約しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項2記載の保険処理サーバ。

【請求項7】上記第1の通知手段は、上記修理会社のメールアドレス宛てに上記事故通知を電子メールで送信する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項8】上記第2の通知手段は、上記リース会社のメールアドレス宛てに承認を促す通知を電子メールで送信する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項9】上記第3の通知手段は、上記保険会社のメールアドレス宛てに承認を促す通知を電子メールで送信する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項10】上記記憶手段は、複数のリース会社から提供されたリース物件の情報を記憶する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項11】上記記憶手段は、上記リース会社から定期的にリース物件情報を受け、記憶しているリース物件

情報を更新する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項12】上記リース会社から提供された上記リース物件情報と上記リースユーザから提供された上記リース物件情報とを関連付けさせるリース物件管理手段を有する請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項13】上記リース物件管理手段は、上記リース会社によって上記リース物件に付与されたリース会社管理番号と上記リースユーザによって上記リース物件に付与されたリースユーザ管理番号とを対応付けさせる請求項12記載の保険処理サーバ。

【請求項14】上記保険会社の承認結果を示す情報に、保険金支払に関する情報が含まれている請求項1記載の保険処理サーバ。

【請求項15】リース会社とリースユーザより提供されたリース物件の情報を記憶するステップと、

上記リースユーザからの事故報告を受けて、ネットワークを介して修理会社の情報処理機器に事故通知を送信するステップと、

上記修理会社により送信される修理見積を受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、

上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して保険会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、

記憶されている上記リース物件の情報とともに、上記事故状況説明、上記見積り結果、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示するステップとをコンピュータに実行させるコンピュータプログラム。

【請求項16】ネットワークに接続されている保険処理サーバ、リースユーザ情報処理機器、修理会社情報処理機器、リース会社情報処理機器、及び保険会社情報処理機器を含む保険処理システムであって、

上記保険処理サーバは、リース会社とリースユーザから提供されたリース物件情報を記憶する記憶手段と、

上記リースユーザ情報処理機器から送信される事故報告を受け、上記ネットワークを介して上記修理会社情報処理機器に事故通知を送信する第1の通知手段と、

上記修理会社から送信される修理見積を受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社情報処理機器に承認を促す通知を送信する第2の通知手段と、

上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して上記保険会社情報処理機器に承認を促す通知を送信する第3の通知手段と、

上記記憶手段に記憶されている上記リース物件の情報とともに、事故状況説明、上記修理見積の内容、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情

報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示する情報開示手段とを有する保険処理システム。

【請求項17】上記情報開示手段は、上記保険処理の関係者に上記情報を選択して開示する情報選択手段を有する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項18】上記情報選択手段は、上記リースユーザに当該リースユーザが契約しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項17記載の保険処理システム。

【請求項19】上記情報選択手段は、上記修理会社に当該修理会社が修理を担当しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項17記載の保険処理システム。

【請求項20】上記情報選択手段は、上記リース会社に当該リース会社が所有しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項17記載の保険処理システム。

【請求項21】上記情報選択手段は、上記保険会社に当該保険会社が保険契約しているリース物件に関する情報のみを開示する請求項17記載の保険処理システム。

【請求項22】上記第1の通知手段は、上記修理会社のメールアドレス宛てに上記事故通知を電子メールで送信する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項23】上記第2の通知手段は、上記リース会社のメールアドレス宛てに承認を促す通知を電子メールで送信する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項24】上記第3の通知手段は、上記保険会社のメールアドレス宛てに承認を促す通知を電子メールで送信する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項25】上記記憶手段は、複数のリース会社から提供されたリース物件の情報を記憶する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項26】上記記憶手段は、上記リース会社から定期的にリース物件情報を受け、記憶しているリース物件情報を更新する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項27】上記リース会社から提供された上記リース物件情報と上記リースユーザから提供された上記リース物件情報とを関連付けさせるリース物件管理手段を有する請求項16記載の保険処理システム。

【請求項28】上記リース物件管理手段は、上記リース会社から提供された上記リース物件に付与されたリース会社管理番号と上記リースユーザから提供された上記リース物件に付与されたリースユーザ管理番号とを対応付けさせる請求項27記載の保険処理システム。

【請求項29】上記保険会社の承認結果を示す情報に、保険金支払に関する情報が含まれている請求項16記載の保険処理システム。

【請求項30】ネットワークに接続されている保険処理サーバ、リースユーザ情報処理機器、修理会社情報処理機器、リース会社情報処理機器、及び保険会社情報処理機器を含む保険処理システムの処理方法であって、リース会社から提供されたリース物件情報を記憶するス

テップと、

上記リースユーザ情報処理機器から送信される事故報告を受け、上記ネットワークを介して上記修理会社情報処理機器に事故通知を送信するステップと、

上記修理会社から送信される修理見積を受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して上記保険会社情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、

上記記憶手段に記憶されている上記リース物件の情報とともに、事故状況説明、上記修理見積の内容、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示するステップとを有する保険処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、事故のあったリース物件の保険処理を行う保険処理サーバ、その処理用コンピュータプログラム、保険処理システム及びその処理方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】通常の保険事故の処理は、事故のあった物件の所有者、修理会社及び保険会社の三者が関わり、事故または故障の通知を受けた修理会社及び保険会社は、それぞれ定められた処理手順に従って処理を行う。例えば、修理会社は、事故の状況を確認した上で修理の見積を作成し、所有者及び保険会社に提出する。保険会社は、物件の所有者との間に締結している保険契約の種類、保険内容などにに基づき支払うべき損害保険の金額を算出し、また、この金額に基づき修理会社の見積を承認し、修理費用を修理会社に支払う。

【0003】リース物件はリース会社によって所有されるため、リース物件の保険事故処理は、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社の四者が関わるため、手続きが煩雑になり、事務処理において必要な書類が多く、リース会社及び保険会社それぞれの承認に時間がかかるため、通常の保険処理に比べて、リースユーザ及び修理会社の処理負担が大きくなり、リースユーザに不便を感じさせることがある。

【0004】図19は、リース物件の保険事故処理の流れを示すフローチャートである。図示のように、リースユーザが物件の事故または故障を発見したとき、まず修理会社またはリース会社に事故の状況を通知する（ステップSS1）。修理会社は事故または故障の状況を確認し、それに基づき修理見積を作成し、リースユーザ、リース会社または保険会社に送付する（ステップSS2）。リース会社は、リースユーザからの保険事故の報告及び修理会社からの修理見積を検討した上、リース物件の修理見積を承認する（ステップSS3）。リース会

社の承認を得たとき、保険会社はリース会社との間に締結した保険の種類、内容などに基つき、修理会社の見積を承認し、修理会社に修理代金の支払いを行う（ステップSS4）。

【0005】上述したように、リースユーザはリース物件の事故を発見してから、修理会社が修理を完了するまでに、リース会社、保険会社それぞれの承認を待たなければならない、時間がかかる。また、通常の物件に比べてリース物件の保険事故処理に物件の所有者であるリース会社が介在するので、手続きが複雑になる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】このように、上述した従来の手続きに従ってリース物件の事故処理を行う場合、リースユーザ、修理会社、リース会社さらに保険会社それぞれに大きな処理負担がかかる。特に大量のリース物件を所有しているリース会社にとって、すべての事故処理を効率的に行うことが困難である。また、リースユーザにとって保険事故の処理に必要な書類が多く、リース会社と保険会社それぞれの承認に時間がかかり、さらに事務管理に手間がかかるため、処理手続きの合理化の要請が強い。また、修理会社にとって、保険事故が発生する都度修理を行っているが、リース物件の契約データに接する機会がないため、関係者との連絡手段は電話、郵便もしくはファクスに頼っているのが現状である。また、保険金が確定してから修理代金が実際に支払われるので、修理代金が回収するまでに時間がかかる。

【0007】また、リース会社にとって、保険事故の処理は、事故発生から必要書類が揃えられるまで時間がかかり、また揃った書類に不備があるとき作成のやり直しなど手間のかかる作業が強いられる。さらに、リースユーザと保険会社の間でリース物件に関する情報などを仲立ちする必要がある、大量のリース物件を抱えるリース会社にとって情報の伝達処理に費やす労力が無視できなくなり、合理化が望まれる。さらに、保険会社にとって、保険事故の処理は、リース会社からの申請を受けてから始めるが、事故発生から日数が経っているケースもあり、事故状況の確認及びそれに基づく審査が難しくなることが考えられる。

【0008】このように、従来の処理手順によるリース物件の保険事故処理は、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社の各関係者にとって処理手続きが煩雑であり、非効率であるため、手続きの簡素化、合理化により処理負担の軽減及び処理時間の短縮をはかることが望まれている。

【0009】本発明は、かかる事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、リース物件の保険事故処理に関する情報をデータベース化し、通信ネットワークを介して関係者にデータベースを共有させることで情報伝達の効率化、処理の簡素化を実現でき、リース物件の保険事故処理にかかる時間を短縮でき、処理コストの低減を実

現できる保険処理サーバ、そのコンピュータプログラム、保険処理システム及びその処理方法を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の保険処理サーバは、ネットワークに接続され、保険事故が発生したリース物件の修理に関する保険処理を行う保険処理サーバであって、リース会社とリースユーザより提供されたリース物件の情報を記憶する記憶手段と、上記リースユーザからの事故報告を受けて、上記ネットワークを介して修理会社の情報処理機器に事故通知を送信する第1の通知手段と、上記修理会社により送信される修理見積を受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信する第2の通知手段と、上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して保険会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信する第3の通知手段と、上記記憶手段に記憶されている上記リース物件の情報とともに、上記事故状況説明、上記見積り結果、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示する情報開示手段とを有する。

【0011】また、本発明では、好適には、上記情報開示手段は、上記保険処理の関係者に上記情報を選択して開示する情報選択手段とを有する。

【0012】また、本発明では、好適には、上記情報選択手段は、上記リースユーザに当該リースユーザが契約しているリース物件に関する情報のみを開示し、また、上記修理会社に当該修理会社が修理を担当しているリース物件に関する情報のみを開示する。

【0013】また、本発明では、好適には、上記情報選択手段は、上記リース会社に当該リース会社が所有しているリース物件に関する情報のみを開示し、また、上記保険会社に当該保険会社が保険契約しているリース物件に関する情報のみを開示する。

【0014】また、本発明では、好適には、上記第1の通知手段は、上記修理会社のメールアドレス宛てに上記事故通知を電子メールで送信する。

【0015】また、本発明では、好適には、上記第2の通知手段は、上記リース会社のメールアドレス宛てに承認を促す通知を電子メールで送信する。

【0016】また、本発明では、好適には、上記第3の通知手段は、上記保険会社のメールアドレス宛てに承認を促す通知を電子メールで送信する。

【0017】また、本発明では、好適には、上記記憶手段は、複数のリース会社から提供されたリース物件の情報を記憶する。

【0018】また、本発明では、好適には、上記記憶手段は、上記リース会社から定期的にリース物件情報を受け、記憶しているリース物件情報を更新する。

【0019】また、本発明では、好適には、上記リース会社から提供された上記リース物件情報と上記リースユーザから提供された上記リース物件情報とを関連付けさせるリース物件管理手段を有する。また、当該リース物件管理手段は、上記リース会社によって上記リース物件に付与されたリース会社管理番号と上記リースユーザによって上記リース物件に付与されたリースユーザ管理番号とを対応付けさせる。

【0020】また、本発明では、好適には、上記保険会社の承認結果を示す情報に、保険金支払に関する情報、例えば、支払う保険金額、支払予定日などの情報が含まれている。

【0021】また、本発明の保険処理サーバ用コンピュータプログラムは、リース会社とリースユーザより提供されたリース物件の情報を記憶するステップと、上記リースユーザからの事故報告を受けて、ネットワークを介して修理会社の情報処理機器に事故通知を送信するステップと、上記修理会社により送信される修理見積りを受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して保険会社の情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、記憶されている上記リース物件の情報とともに、上記事故状況説明、上記見積り結果、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示するステップとをコンピュータに実行させるコンピュータプログラムである。

【0022】また、本発明の保険処理システムは、ネットワークに接続されている保険処理サーバ、リースユーザ情報処理機器、修理会社情報処理機器、リース会社情報処理機器、及び保険会社情報処理機器を含む保険処理システムであって、上記保険処理サーバは、リース会社とリースユーザから提供されたリース物件情報を記憶する記憶手段と、上記リースユーザ情報処理機器から送信される事故報告を受け、上記ネットワークを介して上記修理会社情報処理機器に事故通知を送信する第1の通知手段と、上記修理会社から送信される修理見積りを受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社情報処理機器に承認を促す通知を送信する第2の通知手段と、上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して上記保険会社情報処理機器に承認を促す通知を送信する第3の通知手段と、上記記憶手段に記憶されている上記リース物件の情報とともに、事故状況説明、上記修理見積りの内容、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示する情報開示手段とを有する。

【0023】さらに、本発明の保険処理方法は、ネットワークに接続されている保険処理サーバ、リースユーザ

情報処理機器、修理会社情報処理機器、リース会社情報処理機器、及び保険会社情報処理機器を含む保険処理システムの処理方法であって、リース会社とリースユーザから提供されたリース物件情報を記憶するステップと、上記リースユーザ情報処理機器から送信される事故報告を受け、上記ネットワークを介して上記修理会社情報処理機器に事故通知を送信するステップと、上記修理会社から送信される修理見積りを受け、上記ネットワークを介して上記リース物件を所有するリース会社情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、上記リース会社からの承認通知を受け、上記ネットワークを介して上記保険会社情報処理機器に承認を促す通知を送信するステップと、上記記憶手段に記憶されている上記リース物件の情報とともに、事故状況説明、上記修理見積りの内容、上記リース会社の承認結果及び上記保険会社の承認結果を示す情報を上記ネットワークを介して、保険処理の関係者に開示するステップとを有する。

【0024】

【発明の実施の形態】第1実施形態

図1は本発明に係る保険処理サーバを含む保険処理システムの第1の実施形態を示す回路図である。図示のように、本実施形態の保険処理システムは、保険処理サーバ10、リース会社ホストコンピュータ20、リースユーザ端末30、修理会社端末40、リース会社端末50、保険会社端末60及びネットワーク70によって構成されている。

【0025】リース物件の保険処理には、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社の4者がかかわり、処理手続きが煩雑で、保険処理に必要な情報のやり取りも多い。本実施形態の保険処理システムにおいて、ネットワークを介して保険処理に必要な情報の伝達を行い、処理の効率化をはかる。図1に示すこの保険処理システムにおいて、保険処理サーバ10及びリース会社ホストコンピュータ20は、例えば、リース会社によって運用、管理されている。リースユーザ端末30は、リースユーザが所有するパーソナルコンピュータなどの情報処理機器であり、修理会社端末40は、修理会社が所有するパーソナルコンピュータなどの情報処理機器であり、また、リース会社端末50は、リース会社が所有するパーソナルコンピュータなどの情報処理機器であり、さらに、保険会社端末60は、保険会社が所有するパーソナルコンピュータなどの情報処理機器である。

【0026】なお、ここで、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社において情報処理機器としてのパーソナルコンピュータは、一構成例であり、本発明はこの構成例に限定されることなく、情報処理及び情報通信機能を備えたサーバなどであってもよい。また、図1には、リースユーザ端末、修理会社端末、リース会社端末及び保険会社端末は、それぞれ一つのみを示しているが、実際の保険処理システムにおいて、リース会社とリ

ース契約を締結しているリースユーザが多数あり、同様に多数のリース物件の修理を請け負う修理会社、または保険契約を締結している保険会社もそれぞれ複数ある。このため、実際の保険処理システムにおいて、ネットワーク70を介して保険処理サーバ10に接続されているリースユーザ端末、修理会社端末及び保険会社端末が複数あり、また、リース会社が一社であっても、複数の担当者がそれぞれ保険処理を担当する場合、それぞれの担当者が各自の端末を用いて保険処理サーバ10に接続して処理を行うので、リース会社端末も複数ある。

【0027】ただし、図1に示す保険処理システムにおいて、保険処理サーバ10は、一つのリース会社によって管理・運用されていると仮定している。即ち、保険処理サーバ10は、運営の主体であるリース会社のホストコンピュータ20からリース物件に関する情報を取得してデータベース12に保持し、保険処理においてこれらのデータを関係者に共有させることによって、保険処理の効率化をはかる。なお、複数のリース会社が所有するリース物件の保険処理を行う保険処理サーバについて、リース物件のデータ共有の点において、本実施形態と異なるので、それについて、本発明の第2の実施形態において詳述する。

【0028】以下、本実施形態の保険処理システムの各部分について説明した上、システム全体の処理を説明する。図2は、保険処理サーバ10の一構成例を示している。図示のように、保険処理サーバ10は、制御部11、記憶部13、ネットワークインターネット15及び情報開示部17によって構成されている。

【0029】制御部11は、保険処理サーバ10の各部分の処理を制御する。なお、この制御部11は、例えば、予め制作されたコンピュータプログラムに従って処理を行うCPUなどのマイクロプロセッサによって構成することができる。記憶部13は、リース物件の情報、保険処理システムに登録しているリースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社の情報、例えば、それぞれの識別情報、さらに保険処理の過程で作成された各種の情報、例えば、リースユーザによって入力される事故状況の説明、修理会社の担当者によって入力される見積情報、並びにリース会社及び保険会社それぞれの承認結果などの情報を記憶する。

【0030】ネットワークインターフェース15は、ネットワーク70に対して情報の送受信を行うインターフェース回路である。情報開示部17は、記憶部13に記憶されている情報を保険処理の関係者からのアクセス要求に応じて、ネットワークインターフェース15を介してそれぞれの関係者に送信する。なお、本実施形態の保険処理サーバ10において、情報開示部17は、関係者に対して選択的に情報の開示を行う、いわゆる情報のフィルタリングを行う。例えば、リースユーザからリース物件情報の閲覧要求を受けたとき、当該リースユーザに

対して契約しているリース物件の情報のみを提供する。同様に、修理会社のリース物件情報の閲覧要求に対して、当該修理会社が修理を請け負っているリース物件の情報のみを提供する。

【0031】上述した構成を有する保険処理サーバ10は、保険処理システムを運営しているリース会社が所有しているすべてのリース物件に関する情報をデータベース化して管理している。このデータベース12は、例えば、図2に示す記憶部13に格納されている。保険処理サーバ10は、リース会社ホストコンピュータ20から記憶されているリース契約データ及びユーザの物件管理データに基づき、定期的にリース物件の最新情報を入力し、データベース12の内容を更新する。このため、データベース12は、リース会社が所有しているすべてのリース物件、または特定の顧客群のリース物件に関して常に最新の情報を備えている。

【0032】図3は、このデータベースの一例を示している。図示のように、データベースには、物件毎にユーザ管理番号(No)、リース会社管理番号、物件内容、設置場所名、設置場所住所、検収日、満了日、リース月数、月リース料、残リース料の各項目が表示される。これらの情報が時間に伴って推移する内容、例えば、残リース料合計などの内容が月毎にリース会社ホストコンピュータ20から取得してリース物件情報に基づき更新されるので、データベース12はすべてのリース物件に関して常に最新の情報を保持している。

【0033】図3に示すように、同一のリース物件に対してリース会社によって付与されたリース会社管理番号とリースユーザによって付与されたユーザ管理番号の二つの識別番号がある。リース会社またはリースユーザではそれぞれ自分の管理番号でリース物件を管理している。このため、保険処理サーバ10には、リース会社管理番号とリースユーザ管理番号とを対応付けさせるリース物件管理手段が設けられ、このリース物件管理手段によって、各リース物件に付与されたリース会社管理番号とリースユーザ管理番号とを対応付けさせ、その対応関係を示す関連テーブルをデータベースに格納する。

【0034】保険処理サーバ10、すべてのリースユーザ、修理会社及びリース物件に対して保険契約を締結している保険会社それぞれの管理情報を保持している。例えば、保険処理サーバ10によって提供されるサービスを利用するリースユーザ、修理会社及び保険会社が予め保険処理サーバ10に登録し、それぞれ保険処理サーバ10から識別番号、暗証番号(パスワード)を発行してもらう。保険処理サーバ10の管理情報の中に、登録されたリースユーザ、修理会社及び保険会社に発行された識別番号、パスワードなどを含む識別情報が含まれており、リースユーザ、修理会社または保険会社の担当者がそれぞれの端末で保険処理サーバ10にアクセスするとき、保険処理サーバ10は、入力される識別番号及びパ

スワードに基づき、アクセスする者の身分を確認し、確認された者のみに対して必要な情報及びサービスの提供を行う。

【0035】また、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社が保険処理サーバ10に登録するとき、それぞれの電子メールアドレスを保険処理サーバ10に登録するか、または保険処理サーバ10から新しいメールアドレスを発行してもらう。このため、保険処理の手続きを行うとき、保険処理サーバ10は、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社それぞれに対して、保険処理に必要な情報、例えば、事故または故障（以下、便宜上事故のみと表記する）状況の通知、見積結果の通知、さらに、リース会社及び保険会社の承認結果の通知などを電子メールで送信することで処理負担の軽減並びに手続きの迅速化をはかることができる。

【0036】また、保険処理サーバ10は、アクセスする者に対して選択的に情報の提供を行う、いわゆる情報のフィルタリングを行う。例えば、リースユーザAからのアクセスを受けて、リースユーザAが登録済であることが確認された場合、リースユーザAにこのリースユーザが契約しているリース物件に関する情報、例えば、リース物件の管理番号、物件内容、設置場所、リース期間、リース料、残リース料などの情報だけを提示し、他のリースユーザが契約しているリース物件情報を提供しない。

【0037】さらに、保険処理サーバ10は、リースユーザからの事故の通知を受けたとき、事故の状況などに関する情報を入手し、修理会社、リース会社及び保険会社にそれぞれ事故の通知を行い、保険処理に必要な情報収集及び情報提供を行い、保険会社から保険金の支払いが完了までの各処理を管理する。保険処理サーバ10における保険処理の手続きについて、後にさらに詳しく説明する。

【0038】リース会社ホストコンピュータ20は、リース会社によって所有され、運用されているコンピュータである。当該ホストコンピュータには、リース会社が所有しているすべてのリース物件の情報、例えば、リース契約データ、ユーザの物件管理データなどが記憶されている。リース会社ホストコンピュータ20は、リース物件に関する情報を保険処理サーバ10に定期的に提供する。例えば、リース会社ホストコンピュータ20は、それぞれのリースユーザが契約しているリース物件の月リース料、残リース料合計額など月毎に変動する情報を所定の期間、例えば、月毎に保険処理サーバ10に送信する。これに応じて、保険処理サーバ10は、データベース12に保有しているリース物件情報を定期的に更新し、データベース12のリース物件情報を常に最新の内容に保持する。

【0039】リースユーザ端末30は、リースユーザによって所有されている情報処理機器である。リースユー

ザは、当該端末を用いて保険処理サーバ10にアクセスし、予めリース会社から発行された識別番号、暗証番号を含む識別情報を当該端末に入力することによって、保険処理サーバ10に認証してもらう。そして、保険処理サーバ10によって認証されたとき、必要な情報及びサービスの提供を受ける。なお、以下の説明では、保険処理の関係者が予め保険処理システムに発行してもらった識別番号及び暗証番号を用いて保険処理サーバ10にアクセスし、認証を受けることをログインと表記する。

【0040】例えば、リースユーザがリース物件の事故を発見した場合、リースユーザ端末30を用いて保険処理サーバ10にログインする。そして、保険処理サーバ10から自分が契約しているリース物件に関する情報が送信され、端末の画面にリース物件一覧表が表示される。図4は、リースユーザ端末30の画面に表示されているリース物件一覧表の一例を示している。図示のように、この一覧表には、アクション、入力内容、進捗状況、入金（予定）日、ユーザ管理番号、リース会社管理番号、物件内容、設置場所名、設置場所住所、検収日、満了日、リース月数、月リース料、残リース料の各項目が表示される。

【0041】リースユーザがアクションの項目の下、事故が発生した対象物件の該当する場所、例えば、図4に示す「事故」ボタン100をクリックすると、端末の画面上に図5に示す事故内容入力画面が現れる。

【0042】図5に示すように、この事故内容入力画面には、事故発生日、事故の内容、詳細の説明の項目があり、それぞれの項目についてリースユーザが入力するスペースが設けられている。リースユーザがそれぞれの項目について入力をしたあと、画面の下部に設けられている「登録」または「登録をやめて閉じる」ボタンの何れかを選択（クリック）する。「登録」ボタンが選択されると、事故が発生したリース物件の識別情報、例えば、当該リース物件のユーザ管理番号及びリース会社管理番号とともに、リースユーザが入力した内容がデータファイルにまとめて保険処理サーバ10に送信される。「登録をやめて閉じる」ボタンが選択されると、図6に示す入力画面が閉じられるので、それまでに入力された内容が消去される。

【0043】リースユーザが上述したように、自分の端末を用いて事故の状況を入力し、保険処理サーバ10に送信することによって、保険処理サーバ10に事故の通知を行うことができる。そして、事故通知のあと、随時保険処理サーバ10にログインして、自分の入力した通知内容を確認したり、処理手続きの進捗状況などの確認及び保険金の入金日または入金予定日などを確認することができる。例えば、図4に示す表示画面に入力内容の項目の下に所定の物件の該当する箇所を選択することでその物件に関する事故状況の入力内容が別の表示画面に表示されるので、それを確認することができる。また、

進捗状況、入金（予定）日などの情報を直接図4の表示画面から閲覧できる。

【0044】修理会社端末40は、修理会社によって所有されている情報処理機器である。修理会社の担当者は、予めリース会社から発行してもらった識別番号及びパスワードを用いて当該端末から保険処理サーバ10にログインすることで、事故の通知を受け、さらに事故の状況などを入手することができる。

【0045】例えば、リースユーザから保険処理サーバ10に事故の通知が送られたとき、保険処理サーバ10において、修理会社宛てに自動的に事故通知の電子メールを送信される。修理会社の担当者が修理会社端末から保険処理サーバ10にログインしたとき、保険管理サーバ10からの電子メールを受け取り、事故の通知を受けることができる。事故の詳細の内容を、例えば、事故通知の電子メールの中に、リース物件の番号、リースユーザによって入力された事故の内容、詳細の説明などのデータを添付することで修理会社の担当者がメールを閲覧することで事故状況を把握できる。または、電子メールが事故物件番号とともに事故発生のお知らせをし、事故状況の詳細は、修理会社の担当者が端末画面から保険処理サーバ10に照会することで取得することもできる。

【0046】修理会社の端末者が端末を用いて保険処理サーバ10にログインしたとき、端末の表示画面に例えば、図6に示す一覧表が表示される。この一覧表は、当該修理会社が予めリース会社またはリースユーザと締結した修理契約で定められた修理担当リース物件の内容のみが表示される。図6に示すように、この一覧表の中に、アクション、入力内容、進捗状況、入金（予定）日、ユーザ管理番号、リース会社管理番号、物件内容、設置場所名、設置場所住所、検収日、満了日、リース月数などの情報が表示される。リース料など修理会社に必要の内容契約情報が表示されない。

【0047】修理会社の担当者がこの表示画面において、入力内容の項目の下で所定のリース物件の該当箇所を選択すると、別の表示画面、例えば図5に示す表示画面（「登録」及び「登録やめて閉じる」ボタンを除く）が表示され、その中にリースユーザが入力した事故の状況説明が表示されているので、修理会社の担当者がこの表示内容に基づき事故の状況を把握できる。さらに、修理会社の担当者が図6の表示画面において、事故のあったリース物件の設置場所、その設置場所の住所を確認できるので、必要があれば事故現場に行き、自らリース物件の事故状況を確認することができる。

【0048】修理会社の担当者が事故状況に基づき、修理見積を行う。このとき、修理会社の担当者が識別番号、パスワードを用いて保険処理サーバ10にログインし、図6に示す一覧表が表示されている画面において、アクションの項目の下、該当するリース物件の箇所を選択することで、図7に示す見積入力画面が端末に表示さ

れる。

【0049】図7に示すように、この入力画面において、見積日、見積結果、見積書ファイル添付及び写真ファイル添付の項目があり、それぞれの項目に対応する入力スペースが設けられている。修理会社の担当者がそれぞれの項目について入力する。例えば、リース物件の事故の状況に基づき、修理に必要な日数を見積結果の欄に入力し、また、見積書を添付ファイルで送付する場合、そのファイル名を指定し、さらに、事故が発生したリース物件の現場の写真から作成した画像ファイルのファイル名を指定することもできる。なお、この画像ファイルは、例えば、図6に示すように、静止画のjpgファイル、あるいは動画のデータファイルでもよい。画像データファイルは、例えば、デジタルカメラで撮影して直接データファイルとして得られたものと、通常のカメラで撮影して得られた写真をスキャナで取り込んだ画像データである。また、動画データファイルは、例えば、デジタルビデオカメラで撮影した動画の画像データからなる。

【0050】修理会社の担当者は、図7に示す入力画面で見積結果を入力し、必要な添付ファイルのファイル名を指定して、画面の下部の「登録」ボタンを選択すると、入力した内容がネットワークを介して保険処理サーバ10に送信される。または、図7において「登録をやめて閉じる」ボタンを選択すると、図示の入力画面が閉じて、入力された見積内容が消去される。

【0051】修理会社の担当者が「登録」を選択したとき、リース物件の修理に関する見積情報が保険処理サーバ10に送信されるので、保険処理サーバ10は、送信されてきた見積情報に基づき、リース会社に事故通知の電子メールを送信し、修理会社の見積内容に対してリース会社の承認を促す。

【0052】リース会社端末60は、リース会社によって所有される情報処理機器である。リース会社の担当者がリース会社端末50において、識別番号及びパスワードを入力し、保険処理サーバ10にログインすると、保険処理サーバ10から送信される事故通知電子メールを受信することができる。リース会社の担当者が当該電子メールを閲覧することで、事故が発生したリース物件を特定し、当該リース物件に関する情報を入手する。

【0053】例えば、リース会社担当者が保険処理サーバ10にログインしたあと、端末の表示画面に図8に示す一覧表が表示される。当該一覧表には、アクション、入力内容、進捗状況、入金（予定）日、ユーザ管理番号、リース会社管理番号、物件内容、設置場所名、設置場所住所、検収日、満了日、リース月数、月リース料、残リース料計などの情報が表示される。リース会社の担当者が該当するリース物件の入力内容の項目の下で、「照会」ボタンを選択すると、リースユーザから入力された事故状況の説明及び修理会社の担当者が入力した見

積の内容がそれぞれ別々の表示画面、あるいは、図8の表示画面に重なった小画面上に表示される。そして、担当者は、見積内容の表示画面において添付ファイルを選択することで、見積者の添付ファイル及び事故が発生したリース物件の事故現場の写真などを閲覧することができる。

【0054】リース会社では事故の状況及び見積の内容に基づき、リース物件の修理の見積に対して承認するか否かを決定する。例えば、リース会社の担当者によって見積を承認できる場合、図8に示す一覧表においてアクションの項目の下に該当するリース物件の「承認」ボタンを選択すると、図9に示す承認画面が現れる。リース会社の担当者がこの承認画面において承認するボタンを選択し、さらに「登録」ボタンを選択すると、リース会社承認済との通知が保険処理サーバ10に送信される。また、リース会社の担当者が自分の権限で即座に見積の内容を承認できない場合に、事故状況及び見積内容を社内の他の担当者に報告し、必要に応じて例えば、社内の稟議の上で承認するか否かが決定する。承認する決定が下されたとき、担当者が上述した通り、図9に示す承認画面において承認し、「登録」ボタンを選択し、保険処理サーバ10に承認済の通知を行う。

【0055】保険処理サーバ10において、リース会社端末50から承認済の通知を受けたとき、保険会社に対して事故通知し、見積の承認及び保険料の支払いを促す。

【0056】保険会社端末60は、保険会社によって所有されている情報処理機器である。保険会社の担当者は、保険会社端末60において識別番号及びパスワードを入力し、保険処理サーバ10にログインする。これによって、保険会社担当者が保険処理サーバ10からの電子メールを受け取り、事故が発生したリース物件を特定する情報、例えば、リース物件のユーザ管理番号またはリース会社管理番号を入手できる。また、ログインのあと、保険会社端末60の表示画面に図10に示す一覧表が表示される。当該一覧表には、アクション、入力内容、進捗状況、入金（予定）日、ユーザ管理番号、リース会社管理番号、物件内容、設置場所名、設置場所住所、検収日、満了日、リース月数、月リース料、残リース料計などの情報が表示される。

【0057】保険会社の担当者は図10に示す表示画面において、リース物件の事故状況、見積内容、及びリース会社の承認の有無などの情報を入手できる。例えば、図10に示す一覧表において、入力内容の項目の下、該当する物件の「照会」ボタンを選択すると、事故が発生したリース物件について、リースユーザが入力した事故内容の説明、修理会社の担当者が入力した見積結果、さらにリース会社の承認の有無を示す表示画面がそれぞれ表示される。なお、これらの表示画面がそれぞれ別々に表示されるか、または、図12に示すように、それぞれ

開いたウィンドウの小画面に表示される。

【0058】保険会社の担当者は、図12の表示画面において、リース物件の事故状況、修理会社の見積結果並びにリース会社の承認の結果を確認することができる。また、必要に応じて修理会社の担当者によって指定した添付ファイルを開いて、見積書、及びリース物件の事故現場の写真を閲覧することも可能である。保険会社においてこれらの情報に基づき、例えば、社内稟議の上承認をし、リース物件の事故に対して支払う保険金額、支払い日などを決定する。

【0059】次に、保険会社の担当者は、図10に示す表示画面において、アクションの項目の下、該当するリース物件の「承認」ボタンを選択すると、図11に示す承認画面が端末に表示される。図11に示すように、この承認画面において、承認するボタンの他に、保険金支払い日、保険金額の項目が表示され、それぞれの項目について入力するスペースが設けられている。また、承認の結果について「登録」及び「登録をやめて閉じる」の選択ボタンが表示されている。保険会社の担当者がこの承認画面において、「承認する」ボタンを選択し、保険金支払い日、保険金額の項目にそれぞれ入力したあと、「登録」ボタンを選択すると、保険会社が承認済の通知が保険処理サーバ10に送信される。また、この通知の中に、保険金支払い日及び保険金額の情報も含まれる。

【0060】保険処理サーバ10は、保険会社端末60からの承認済の通知を受けると、これらの情報を整理し、関係者のアクセス要求に応じて必要な情報を関係者に提供する。例えば、事故通知をしたリースユーザが保険処理の進捗状況を知りたい場合、リースユーザ端末30を用いて保険処理サーバ10にログインし、リース物件の保険処理の進捗状況を確認することができる。保険処理サーバ10は、リースユーザ端末30からのアクセスを受けたとき、当該リースユーザが契約しているリース物件の一覧表のデータをネットワークを介してリースユーザ端末30に送信する。これに応じて、リースユーザ端末30の表示画面に、例えば、図13に示す一覧表が表示される。

【0061】図13に示すように、リースユーザが複数のリース物件を契約している場合、それぞれのリース物件についてアクション、入力内容、進捗状況、入金（予定）日、ユーザ管理番号、リース会社管理番号、物件内容、設置場所名、設置場所住所、検収日、満了日、リース月数、月リース料、残リース料計などの項目別にそれぞれの情報が表示される。リースユーザが進捗状況の項目において、それぞれのリース物件に保険処理の状況を観覧できる。例えば、あるリース物件について見積中、別のリース物件について、リース会社承認待ち中、若しくは保険会社承認待ち中とのメッセージが表示されるので、リースユーザがこれらのリース物件の保険処理の状況を把握できる。また、この表示画面において、リース

ユーザが内容入力項目の下、「照会」ボタンを選択すると、例えば、図14に示す表示画面が表示され、自分が入力した事故状況の説明、修理会社の担当者が入力した見積内容が表示され、さらにリース会社及び保険会社の承認が得られたとき、その内容も表示される。例えば、リース会社承認済、保険会社承認済のメッセージのほか、保険会社が支払う保険金額、保険金支払い日などの情報も表示される。

【0062】以上、本実施形態の保険処理システムにおける保険処理サーバ10、リースユーザ端末30、修理会社端末40などの各構成部分の機能について説明した。次に、本実施形態の保険処理システムの全体の動作について説明する。図15は、保険処理の流れを示すフローチャートである。さらに図16は、保険処理の各段階毎に、保険処理サーバ10、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社のそれぞれの処理を示すフローチャートである。以下、図15及び図16のフローチャートを参照しつつ、本実施形態の保険処理システムにおける事故処理の流れを説明する。

【0063】まず、リースユーザが事故が発見したとき、事故状況を保険処理サーバ10に通知する(ステップS1)。この処理において、リースユーザがリースユーザ端末30を用いて保険処理サーバ10にログインし、事故の内容、事故状況の詳細の説明を入力し、保険処理サーバ10に送信する。次に、保険処理サーバ10は、リースユーザからの事故の通知を受けると、修理会社に自動的に事故通知の電子メールを送信する(ステップS2)。

【0064】修理会社の担当者が修理会社端末40を用いて保険処理サーバ10にログインし、保険処理サーバ10からの電子メールを受信し、さらに端末の表示画面において、事故の内容、事故状況を確認し、必要に応じて事故現場の確認を行ってから見積を行う(ステップS3)。この見積の内容が保険処理サーバ10に送信される。これを受けた保険処理サーバ10は、リース会社に事故通知の電子メールを送信する(ステップS4)。

【0065】リース会社の担当者がリース会社端末50を用いて保険処理サーバ10にログインし、保険処理サーバ10からの電子メールで事故の通知を受け、事故の内容、事故状況及び修理会社の見積内容を確認した上、承認を行う(ステップS5)。リース会社の承認が行われたとき、リース会社承認済の通知が保険処理サーバ10に送信される。これを受けた保険処理サーバ10は、保険会社宛てに事故通知の電子メールを送信する(ステップS6)。

【0066】保険会社の担当者が保険会社端末60を用いて保険処理サーバ10にログインし、保険処理サーバ10からの通知メールを受信し、事故の内容、事故状況、修理会社の見積内容及びリース会社の承認の有無を確認した上、保険金支払いについて承認を行い、支払い

保険金額及び保険金支払い日を決定する(ステップS7)。そして、この決定内容が保険処理サーバ10に送信される。

【0067】次に、図16を参照しつつ、保険処理の各段階における処理の詳細について説明する。まず、事故発生通知の処理段階において、事故を発見したリースユーザは、リースユーザ端末を用いて保険処理サーバ10にログインし、そしてリースユーザ端末の表示画面に表示された入力項目に従って事故の発生日(あるいは発見日)、事故の内容、事故状況の詳細の説明などを入力し、保険処理サーバ10に事故の通知を行う。

【0068】保険処理サーバ10は、リースユーザからの事故の通知を受けたとき、当該リースユーザから事故の発生日、事故の内容、事故状況の詳細の説明などの情報を受け取り、これに基づき、修理会社に事故通知をする。なお、当該事故通知を電子メールの形で行うことによって、情報の伝達を迅速に行うことができる。

【0069】次に、修理見積段階において、修理会社の担当者が修理会社端末40を用いて保険処理サーバ10にログインすることでリース物件に関する情報を照会することができ、リース物件の事故に関する情報を入手できる。また、必要に応じて、事故の発生現場でリース物件の事故状況を確認し、写真撮影を行い、確認の結果に基づき見積をする。そして、保険処理サーバ10にログインし、修理会社端末40の画面に表示された入力項目に従って必要な事項を入力し、また、見積書、事故現場の写真などのファイルを添付して、保険処理サーバ10に送信する。保険処理サーバは、修理会社からの見積内容を受けたとき、リース会社にメールで通知する。

【0070】次に、リース会社により見積の承認、即ち、図16に示す承認処理1が行われる。この承認処理において、まず、リース会社の担当者がリース会社端末50を用いて保険処理サーバ10にログインし、保険処理サーバ10からの通知メールを閲覧し、事故の状況及び見積の結果を確認する。そして、これらの情報に基づき見積承認を行う。ここで、必要において、リース会社内で稟議により決裁を行い、承認を決定する。そして、リース会社の担当者は、リース会社端末50の承認画面において承認を入力する。

【0071】リース会社の承認結果が保険処理サーバ10に送信される。保険処理サーバ10は、これに応じて、保険会社宛てに事故の通知するとともに承認を促す電子メールを送信する。次いで、保険会社における保険金支払いの承認、即ち、図16に示す承認処理2において、保険会社の担当者が保険会社端末60を用いて保険処理サーバ10にログインし、保険処理サーバ10からのメールを受け取り、そして、この端末を通じて事故内容と事故状況、修理見積結果及びリース会社の承認結果などの情報を確認し、これらの情報に基づき保険金の支払いの承認をする。ここで、必要に応じて保険会社内で

稟議により決裁を行い、支払い保険金額、支払い日などの決定する。この決定を受けて保険会社担当者は、保険会社端末60を用いて保険承認の結果を入力し、さらに保険金支払い日、保険金額を画面の表示項目に従ってそれぞれ入力する。そして、入力したこれらの情報を保険処理サーバ10に送信する。

【0072】最後に、図16に示す入金確認の処理が行われる。この処理段階において、図示のように、リースユーザ、修理会社担当者、リース会社担当者及び保険会社担当者がそれぞれ各自の端末で保険処理サーバ10にログインすることで、保険処理の進捗状況を確認することができる。例えば、リースユーザが保険処理サーバ10にログインし、進捗状況の確認を指示すると、図13に示す一覧表が端末画面に表示される。リースユーザがこの表示画面において、それぞれの契約リース物件について、契約状況を確認するとともに、事故中のリース物件について事故処理の進捗状況を確認することもできる。

【0073】なお、保険処理サーバ10における情報のフィルタリング処理によって、それぞれの関係者に端末に表示されるリース物件の一覧表の項目が異なる。例えば、各リースユーザが自分の契約しているリース物件の情報のみを閲覧することができ、他のリースユーザのリース契約情報に触れることができない。また、修理会社には、リース物件に関する月リース料、残リース料計が開示されない。

【0074】図16に示すように、それぞれのリース物件の保険処理の進捗状況の確認は、保険金が支払われ前には勿論、支払われたあとにもできるので、リース物件の事故処理にかかわる関係者は、いつでも保険処理の進捗状況を簡単に確認することができ、処理の円滑化、迅速化をはかることによって、関係者全体の作業効率の向上を実現できる。

【0075】以上説明したように、本実施形態の保険処理システムによれば、リース物件情報が保険処理サーバ10のデータベース12に保持され、保険処理の関係者にこのデータベースの情報を共有させ、リースユーザがリースユーザ端末30を用いて保険処理サーバ10に事故の状況を通知し、保険処理サーバ10が自動的に修理会社に事故通知の電子メールを送信し、修理会社の担当者が修理会社端末40を用いて事故のあったリース物件の情報及び事故状況を取得した上見積をし、保険処理サーバ10に送信する。保険処理サーバ10は、これらの情報を電子メールで順次リース会社と保険会社に送信し、それぞれの承認を促すことによって、リース物件の事故発見から、リース物件修理の見積、リース会社、保険会社それぞれの承認、さらに保険金支払いまでの各段階の処理がスムーズに行われるので、保険処理にかかわる関係者がデータの共有により、それぞれの処理負担を軽減でき、保険処理の効率化をはかることによって、処

理の迅速化を実現できる。

【0076】第2実施形態

図17発明に係る保険処理システムの第2の実施形態を示す回路図である。図示のように、本実施形態の保険処理システムは、図1に示す本発明の第1の実施形態の保険処理システムとほぼ同じ構成を有する。ただし、本実施形態の保険処理システムでは、保険処理サーバ10aは、複数のリース会社からそれぞれのリース物件に関する情報を取得し、これらリース会社の物件情報並びにリース物件にかかわるリースユーザ、修理会社、リース会社、及び保険会社の情報を関係者に共有させることによって、多数の関係者がかかわるリース物件の保険処理の効率化をはかる。

【0077】このように、本実施形態の保険処理システムにおいて、複数のリース会社のリース物件の保険処理を行うので、共有可能なリース物件情報の内容が上述した第1の実施形態の保険処理システムとは異なることがあり得るが、それ以外の点では、例えば、それぞれのリースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社における事務処理の手続きは、第1の実施形態とほぼ同じである。以下、本実施形態における保険処理サーバ10aのデータベース及び関係者間のデータの共有について説明し、その他第1の実施形態と同様な処理については、重複を避けるべく詳しい説明を省略する。

【0078】本実施形態の保険処理システムにおいて、保険処理サーバ10aは、複数のリース会社またはリースユーザによって共同で管理・運用されている。このため、保険処理サーバ10aのデータベース12aには、複数のリース会社のホストコンピュータ、例えば、図17の例では、Aリース会社ホストコンピュータ20a、Bリース会社ホストコンピュータ20bからそれぞれのリース会社が所有しているリース物件の情報を取得して保持する。ただし、これらのリース物件情報の中に、それぞれのリース会社の都合上外部に公開できない情報、例えば、自社のリース物件のリース料、リースユーザの残リース料合計金額などの情報を保険処理サーバ10aに提供することができない。このため、本実施形態の保険処理システムにおいて、保険処理サーバ10aは、それぞれのリース会社から公開できる情報のみを取得し、これらに基づきデータベース12aを作成して保持する。そして、データベース12aに登録した情報は、原則としてすべての関係者に必要に応じて公開する。

【0079】なお、本実施形態の保険処理サーバ10aにおいて、上述した第1の実施形態と同様に、データベースの情報に対してフィルタリングを行うことはいうまでもない。例えば、リースユーザが自分の端末から保険処理サーバ10aにログインしたとき、当該リースユーザには、そのリースユーザが契約しているリース物件に関する情報のみを提示し、他のリースユーザの契約情報を提示しないので、リースユーザは、自分が契約してい

るリース物件の情報のみを閲覧することができる。

【0080】図18は、リースユーザに提示しているリース物件情報の一例を示している。図示のように、このリース物件情報は、該当するリースユーザが契約しているリース物件の情報を一覧表で示しているものである。それぞれのリース物件について、ユーザ管理番号、リース会社名、リース会社管理番号、物件内容、設置場所、設置場所住所、満了日、リース月数、月リース料、残リース料計などの項目が含まれている。図示のように、月リース料、残リース料合計などの情報は、リース会社によって提示しないこともあり、その場合該当する項目は空欄となる。

【0081】本実施形態の保険処理システムにおいて、保険処理は上述した本発明の第1の実施形態と同様に、事故または故障を発見したリースユーザは、リースユーザ端末30を用いて保険処理サーバ10aにログインする。これによって、リースユーザ端末30の画面に、当該リースユーザが契約しているリース物件の一覧が表示される。リースユーザは、事故のあったリース物件に対応する事故発生ボタンを選択することで、リースユーザ端末30に、例えば、図5に示すように、事故発生日、事故内容及びその詳細の説明を入力する小画面が現れる。リースユーザは、この画面に事故の状況を入力し、保険処理サーバ10aに送信する。

【0082】保険処理サーバ10aは、リースユーザからの事故の知らせを受けると、そのリース物件の修理を請け負う修理会社に電子メールで通知をする。これによって、修理会社の担当者は修理会社端末40で保険処理サーバ10aにログインし、リースユーザによって入力した事故状況の説明を閲覧し、さらに必要に応じて事故現場に行き、状況を確認する上、修理の見積をする。修理会社の担当者は、例えば、図7に示す入力画面において見積結果とともに、見積書ファイル及び事故現場で撮影した写真のデータファイルなどを添付して保険処理サーバ10aに送信する。

【0083】保険処理サーバ10aは、見積結果をそのリース物件を所有するリース会社に通知し、リース会社に見積の承認を促す。リース会社から見積承認の通知を受けたとき、さらにそれを保険契約が締結している保険会社に通知する。保険会社において、事故の状況、見積結果及びリース会社の承認結果に基づき、保険金支払いに関する決裁をし、保険金支払い日、保険金額などを決めた上保険処理サーバ10aに通知する。そして、保険処理サーバ10aにおいて保険処理の関係者から得られた情報をネットワークを介して、関係者全員に公開するので、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社は、それぞれ事故の状況、保険処理の進捗状況を逐一把握することができるので、保険処理全体を円滑に進めることができ、保険処理の効率化と迅速化をはかることができる。

【0084】特に本実施形態の保険処理システムにおいて、複数のリース会社がこのシステムに参加する場合、契約リースユーザ、リース物件の修理を請け負う修理会社、及び保険契約を締結している保険会社がそれぞれ多数に及ぶので、本実施形態のシステムを利用せず通常の保険処理で対処する場合、処理負担が重く、処理に時間がかかる上、誤りが発生しやすく、それを故に遅滞が発生しやすく、保険処理の関係者に不便を感じさせる。これに対して、本実施形態の保険処理システムにおいて、複数のリース会社によって提示されたリース物件の情報を関係者全員に共有させることによって、保険処理の各段階において、関係者が保険処理サーバ10aにアクセスして必要な情報を閲覧することができ、また、進捗状況を随時把握することができるので、事務処理の負担を大幅に軽減でき、処理の効率化がはかれる。また、各リース会社が保険処理に必要最小限のリース物件情報を提供してシステムに参加でき、それぞれの都合上リース料などの情報を開示しなくて済み、リース会社にとって、営業上の機密を守ることができる。このように、本実施形態の保険処理システムによって、多数のリース会社を利用しやすいサービスを提供することができる。

【0085】また、多数ある関係者がそれぞれ保険処理システムに連絡先、例えば、電子メールのアドレスを登録し、またはシステムに新しいメールアドレスを発行してもらうことによって、保険処理にかかわるすべての情報の伝達は、保険処理サーバ10aによって電子メールなど便利な手段で自動的に行うことができるので、情報伝達を高速かつ確実に行うことができ、処理の迅速化を実現できる。

【0086】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の保険処理サーバ、その制御用コンピュータプログラム、保険処理システム及びその処理方法によれば、リース物件の情報を保険処理にかかわる関係者、例えば、リースユーザ、修理会社、リース会社及び保険会社に共有させることによって、保険処理において情報の確認を容易にでき、重複入力を避けることができる。また、保険処理に必要な情報の伝達は保険処理サーバによって電子メールなどの形で自動的に行うことによって、情報伝達を高速かつ確実に実現できる。また、本発明によれば、保険処理にかかわる情報の入力、それぞれの関係者が端末の画面表示に従って行い、入力内容が保険処理サーバによってチェックできるので、入力ミスなどによって生じる遅滞を解消でき、またオペレータの処理負担を軽減できるので、処理の効率化と迅速化を実現できる。さらに、本発明によれば、保険事故処理の進捗状況を容易に把握することができるので、保険処理にかかわるそれぞれの関係者において、処理負担が軽減し、管理が容易になる。この結果、本発明の保険処理システムを利用することによって、事故発生から保険会社が保険金支払いの承認を得

るまでの時間を短縮でき、事故処理がスムーズに行われるので、関係者全員にとってリース物件の事故処理といったこれまでに煩雑で手間のかかる処理を効率化、迅速化することができる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る保険処理システムの第1の実施形態を示す構成図である。

【図2】保険処理サーバの一構成例を示す構成図である。

【図3】リース物件のデータベースの一覧を示す図である。

【図4】リースユーザ端末の表示画面野一例を示す図である。

【図5】事故内容入力画面の一例を示す図である。

【図6】修理会社端末の表示画面の一例を示す図である。

【図7】見積入力画面の一例を示す図である。

【図8】リース会社端末の表示画面の一例を示す図である。

【図9】リース会社の修理見積の承認画面である。

【図10】保険会社端末の表示画面の一例を示す図である。

【図11】保険会社端末に表示される事故内容、見積結果、リース会社の承認結果の表示画面の一例を示す図である。

【図12】保険会社の承認画面の一例を示す図である。

【図13】保険処理の進捗状況の確認作業中の表示画面

の一例を示す図である。

【図14】保険処理の確認画面において照会ボタンを選択したときの表示画面の一例を示す図である。

【図15】保険処理の流れを示すフローチャートである。

【図16】保険処理の各段階における処理を示すフローチャートである。

【図17】本発明に係る保険処理システムの第2の実施形態を示す構成図である。

【図18】本実施形態の保険処理システムにおいて共有されるリース物件情報の一覧表を示す図である。

【図19】通常のリース物件の保険処理の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

10、10a…保険処理サーバ、

11…制御部、

12、12a…データベース、

13…記憶部、

15…ネットワークインターフェース、

17…情報開示部、

20、20a、20b…リース会社ホストコンピュータ、

30…リースユーザ端末、

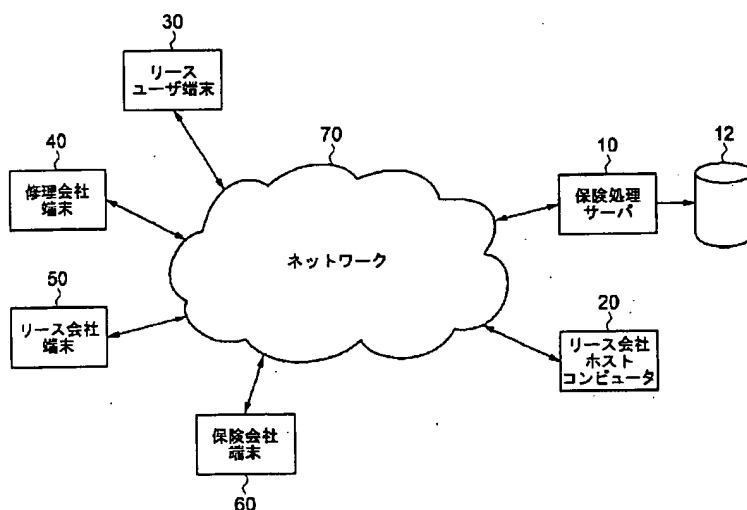
40…修理会社端末、

50…リース会社端末、

60…保険会社端末、

70…ネットワーク。

【図1】



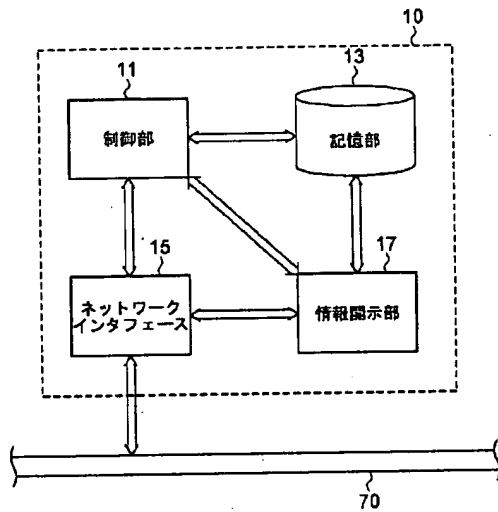
【図7】

見積日	2001/4/20
見積結果	一週間で修理可能
見積書ファイル添付	4-20A見積.doc
写真ファイル添付	4-20A写真.jpg
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="登録をやめて閉じる"/>	

【図9】

承認する	<input type="radio"/>
* ラジオボタン(クリックで印がつく)	
<input type="button" value="登録"/>	<input type="button" value="登録をやめて閉じる"/>

【図2】



【図5】

事故発生日	2001/4/19
事故の内容	釣り銭口の破損
詳細の説明	窃盗目的でこじ開けようとした模様。 金銭の被害はなし。
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="登録をやめて閉じる"/>	

【図11】

承認する <input checked="" type="radio"/>	
*ラジオボタン(クリックで印がつく)	
保険金支払日	2001/4/20
保険金額	¥180,000
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="登録をやめて閉じる"/>	

【図12】

事故発生日	2001/4/19	
事故の内容	見積日	2001/4/20
詳細の説明	見積結果	一週間で修理可能
	見積書ファイル添付	4-20A見積.doc
	写真ファイル添付	4-20A写真
リース会社は、承認済です。		

【図14】

事故発生日	2001/4/19	
事故の内容	見積日	2001/4/20
詳細の説明	見積結果	一週間で修理可能
	見積書ファイル添付	4-20A見積.doc
	写真ファイル添付	4-20A写真
リース会社は、承認済です。		
保険会社は承認済みです。		
保険金支払日		2001/4/20
保険金額		¥180,000

【図3】

ユーザ管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	××社××機 XX99	〇〇ビル3F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル4F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル5F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル6F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル13F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

【図4】

アクション	入力内容	進捗状況	入金 (予定)日	ユーザ管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース 月数	月リース料	残リース料計
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	××社××機 XX99	〇〇ビル3F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル4F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル5F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル6F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル7F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル8F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル9F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	××社××機 XX99	〇〇ビル10F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	××社××機 XX100	〇〇ビル11F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	××社××機 XX101	〇〇ビル12F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
専放		通常		XXXX-000000	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル13F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

【 図 6 】

アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No.	リース会社管理No.	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数
見積	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36
見積	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36
見積	照会	見積中		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX101	〇〇ビル4F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36
見積	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX102	〇〇ビル8F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36
見積	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX103	〇〇ビル7F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36
見積	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX104	〇〇ビル13F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36

【 図 〇〇 】

アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No.	リース会社管理No.	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	× × 社 × × 機 XX99	〇〇ビル3F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	リース会社承認待ち		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル4F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル3F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル8F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル7F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル8F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル9F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	× × 社 × × 機 XX99	〇〇ビル10F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	× × 社 × × 機 XX100	〇〇ビル11F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	× × 社 × × 機 XX101	〇〇ビル12F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	BOLA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル13F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

[illegible]

【図13】

アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	見積中		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

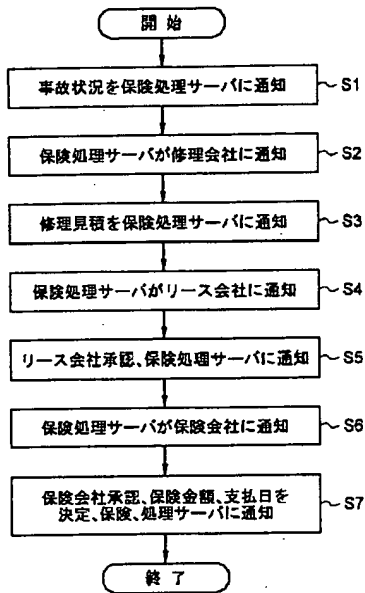
アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	リース会社承認待ち		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	保証会社承認待ち		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

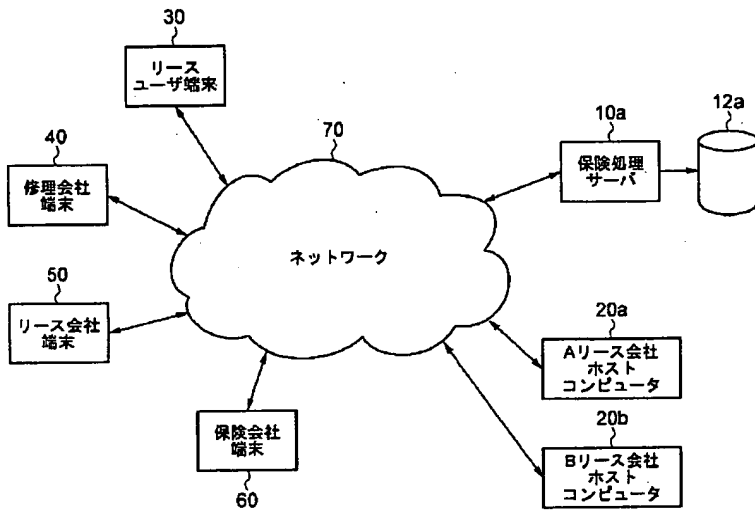
アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	入金待ち		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

アクション	入力内容	進捗状況	入金(予定)日	ユーザ-管理No	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	検収日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
承認	照会	通常		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
承認	照会	入金済(処理完了)		XXXX-000000	B0LA9998/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000

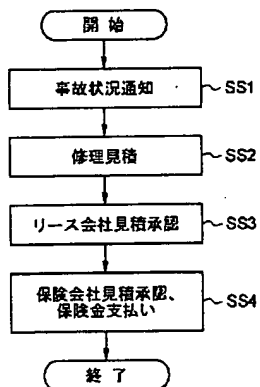
【図15】



【図17】



【図19】



【 18 】

ユーザ管理No	リース会社名	リース会社管理No	物件内容	設置場所名	設置場所住所	稼働日	満了日	リース月数	月リース料	残リース料計
XXXX-000000	Aリース	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX99	〇〇ビル1F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	Aリース	B0LA9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル2F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	Aリース	B0LA9999/001/001	× × 社 × × 機 XX99	〇〇ビル3F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36	¥12,000	¥156,000
XXXX-000000	Bリース	B0LB9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル4F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36		
XXXX-000000	Bリース	B0LB9999/001/001	△△社△△機 XX99	〇〇ビル5F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36		
XXXX-000000	Cリース	B0LC9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル6F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36		
XXXX-000000	Cリース	B0LC9999/001/001	〇〇社〇〇機 XX100	〇〇ビル13F	〇〇市〇〇町	1999/5/1	2002/4/30	36		

フロントページの続き

(72)発明者 堀口 邦彦

東京都中央区銀座2-9-4 ジーイーキ
ャピタルリーシング株式会社内

(72)発明者 長阪 麻樹

東京都中央区銀座2-9-4 ジーイーキ
ャピタルリーシング株式会社内